

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
2019年度 第3回理事会議事録

日時: 2019年9月17日(火)

会場: 文星芸術大学附属高校研修室

出席: (理事)15名 阿部泰紀、上野秀夫、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美、福田悦男
直井秀幸、新村雅司、菊地宜秀、渡辺諭、益子基久、阿久津宏一、佐々木清美
日向野剛、山田将樹

(国体監督)2名: 渡邊明美(少女)、横山充男(成男)

欠席: (理事)5名 小曾戸和彦、片桐晃、佐藤智信、日向野信行、前原延之
(監事)2名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長: 高校総体や全中など大きな競技会が終了してきている。そんな中、7月末に文星芸大附高の伊藤先生が急逝された。謹んでお悔やみ申し上げる。過日開催された関ブロミニ国体において、少年男女が関東を突破して本国体に出場する。これも協会が推進してきたジュニア育成プロジェクトの成果の現れであり快挙である。また、審判の方でも上級審判が2名増えることになり喜ばしい限りである。本日も慎重審議願う。

2 報告事項

(1) 関東ブロック国体予選報告

少年女子(渡辺監督)

関東ブロック3位通過で本国体出場を決めた。けが人が3名出てしまいリザーブと入れ替えになった。ジュニア育成の成果もあり短期間でチームをまとめることができた。本国体ではベスト8以上を目標に頑張るので応援願う。

成年男子(横山コーチ)

福島・群馬・新潟・山形などと強化練習試合を行った。学生中心のため国体に対する意識が足りなかったと反省している。関ブロでは山梨と対戦したが、前半は良かったが後半山梨の底力を出され経験の差が出てしまった。来年に向けては、元プロ選手等を補強し関東を突破していかなければならないと思う。

少年男子(福田強化部長)

1回戦で長身者を揃えた東京に、1Qこそやられたが2Q～4Qはリードして勝利した。これまでの強化の成果が出た結果である。準決勝で神奈川に敗退したが、敗者復活で群馬を破り本国体出場を決めた。順位決定戦では再び東京と戦ったが、けが人も出ており4位という結果となった。少年男女本国体出場を受けて検証し、栃木国体へ繋げたい。

成年女子(福田強化部長)

準決勝で山梨に敗退し国体出場はならなかった。前半のリードを後半ゾーンを敷かれ攻めきれなく逆転負けを喫した。

総括(強化担当上野副会長)

○少年男女が本国体に出場を決めたことについて、選手・スタッフに感謝する。U16本国体出場については、5年前にU12を立ち上げて育成強化に努めてきたことも一つの要因であるし、栄養学のアドバイザーや外部指導者の指導、審判の方々の協力、トレーナーの協力等、チームが一丸となってきていることを皆さんに伝えたい。

○U16の選手の編成については、高校2年生を中心に組んだり、中学生を3～5人程度入れていたりしている都県があった。これから、本県でも考えていかなければならない。

今後、本国体でベスト8になるためには、更にその上に行くためにはどう戦っていくのか、本国体を見据えて、来年度以降に結び付けていかなければならない。

○成年男女についても、突破できなかったことへの改善や成年チームの難しさを痛感した。強化関係者やスタッフの方々の意見をいただきながら、それらの実践をどう積み上げていくのか大きな課題である。

(2) 各種大会報告

ア 第38回関東ブロックスポーツ少年団交流大会

男子: 1位リーグ 明治MB 3位

女子: 1位リーグ ASAHI 3位

○男女ともに予選リーグを1位で突破している。ここ数年決勝リーグに進出しレベルを保っている。

(3) その他の報告

ア 強化部より

○韓国遠征について報告書をまとめた。韓国のチームと5ゲーム、熊本の東海星翔高友対戦して2勝4敗の結果であった。

○フィジカル、体格等が違っ中で12名はよく戦ってきた。これらの経験が勉強になり強化に繋がりが、長身者やフィジカルが強い選手への対応力がついた。

○今後、本国体の結果や強化練習会等の成果を総括して、次年度の強化計画を策定していく。

イ 審判委員会より

○9/7・8に関東ブロック審判A級審査会があり中体連所属の岡と高体連所属の栗原が関東から推薦され次年度からA級となる。来年度より、本県の上級審判員はS級6名、A級10名となる。

- 後期インストラクター養成講習会に、この2名を参加させる。
- 今週末に、S級の審査会がありミニ連所属の赤羽が参加する。
- ウ 指導者養成委員会より
 - 大森がディベロッパー研修会を終了して10月中にはB級コーチとなる。
 - B級コーチ・ディベロッパー資格者ができたので、今年度のD級コーチ講習会とリフレッシュ講習会の日程を組むことが出る。出来上がったらHPに載せる。
 - JBAからは、C級コーチを養成を言われている。本県では、ディベロッパー資格者の関係で、今年度はD級養成講習会60名、C級養成講習会40名の募集枠となった。
 - 講習会の受講者には「実践！グッドコーチング」を購入してもらうことにする。
- エ アンダーカテゴリー部会報告
 - ①U12部会
 - JBAの方針の変更により、競技日程3日間を4日間にする。最終日の会場が確保されていないので今後確保する。
 - 11/9・10日はリーグ戦とし上位2チームが11/16・17日の決勝トーナメントに出場する。
 - JBAのルールではショットクロックが24秒ではあるが、関東大会では30秒となるので今回は30秒とする。
 - ②U15部会
 - 今、後期リーグ戦の準備をしている。JRプレ大会県予選会の要項を検討中である。
 - ③U18部会
 - 南・中・北の三地区で日程を調整しながら実施中である。
 - ウインターカップ県予選の組合せが決まり次第HPにアップする。
- オ 3×3委員会より
 - FIBA3×3Final2019開催記念「宇都宮市長杯」Roundo I が7/20(土)9に宇都宮オリオンスクエアで開催した。男女上位2チームが11/2(土)・3(日)のFinal Roundoへ出場する。
 - 9/28(土)に「宇都宮市長杯」Roundo II がFKDインターハイパーク店駐車場で開催され、男女上位2チームが11/2(土)・3(日)のFinal Roundoへ出場する。
 - 9/29(日)に同じ会場で、第6回U18日本選手権東日本エリア栃木県予選会と2019年度U15栃木県大会が開催される。U18の優勝チームは11/16に開催される東日本エリア大会へ出場する。
 - 県外大会予定
 - ・ 11/16第6回3×3U18日本選手権東エリア大会(東京)
 - ・ 11/30第6回3×3U18日本選手権大会(東京)
 - ・ 1/13第5回3×3OPEN日本選手権東エリア大会(東京):2019年2月に県代表は決定済
 - ・ 2/22・23第5回3×3OPEN日本選手権大会(東京)
 - ・ 宇都宮市長がFINAL開催後の来年度に向けて、スイスのローザンヌに行き、オリンピック3×3のキャンプ地として名乗りを上げ、オリンピック前にワールドツアーの開催を申し入れた。実現すれば、ボランティア等の協力依頼がくる。
- カ 2020年度D-fundの申請について(事務局)
 - 9月末までに各連盟とも次年度の計画を提出してほしい。JBA締切は10月末。
- キ 賛助会の中間報告について(事務局)
 - 9/17現在、個人会員66名、団体会員5団体、通帳残高¥73.360、7/22に70万円を本通帳へ振り込んだ。
- ク 新年会の会場について(事務局)
 - 1/18(土)19:00~受付、19:30~開宴で昨年どおりである。
- ケ 関東協会専務理事会議報告(8/24)
 - U12:2020年度よりミニ連が解消され、U12部会となる。
 - U15:関東ブロックとしてU15部会を開催する。
 - U15の移籍について各都県で問題が出てきている。関東としての共通理解が必要。
 - 関東大会等において規律委員会を開催県が設置する必要がある。
 - 天皇杯・皇后杯1次ラウンドの開催地ローテーションを北海道・東北・関東で協議していく。
- コ BREX関係で報告
 - アリーカップ2019関東で初優勝した。
 - ユースチームU15がアリーカップ同時開催のトーナメントで優勝した。
 - BREXは、マカオで9/17~22に開催される「The Terrific 12」出場する。
 - 第44回県ミニバスケット大会の記念Tシャツを販売中である。
 - U15後期リーグ戦の記念Tシャツを作成中である。
 - 今シーズンのBREXポスターとポケットガイドができた。PRできる場所に掲載願う。
- サ その他:11/10(日)に開催するU15の北関東強化会の会場が足利南校に決まった。

3 審議事項(議長:会長)

- 定足数について:理事総数20名、内15名出席で本会議は成立する。
- 議事録署名人:学識経験者 新村雅司 小山市協会 日向野剛 氏にお願いする。

(1) 役員候補者選考について(事務局)

- 役員候補者選考委員を委嘱して候補者選考委員会を開催し、次年度の役員改選の準備をしたい。
 - 常任理事3名、理事代表4名、代議員代表2名、監事1名を推薦したい。承認願う。
- 承認される—

(2) 茨城国体の視察について(事務局)

- 2022年度の栃木国体に備えて茨城国体を視察したい。
 - 総務・財務・競技・TO・スタッツ強化について15名ほどの視察を予定している。審議願う。
- 承認される—

(3) 茨城国体選手派遣及び視察関連経費について(事務局)

- 当初予算の中に、本大会対策強化費、本大会派遣費、視察関係の旅費等が組みれていないので補正として承認願う。

—承認される—

(4) 事務局パート職員の給与について(事務局)

- 県の最低賃金の値上げにより事務局職員の賃金規定を改定したい。
 - 法人化当初賃金規定を制定したが、それ以後、毎年県の最低賃金が上がっていることを見過ごしてきた。
 - 当時とは仕事量も増えてきており、見過ごしてきた値上がり分を勘案して時給950円としたい。
 - 次年度以降は、最低賃金の推移を見ながら調整していくことも含めて承認願う。
- 承認される—

(5) 第95回天皇杯・第86回皇后杯2次ラウンドの運営について(事務局)

- 昨年通り運営をBREXに委託したい。内容については、JBAからの運営費が50万円減額、収益金のJBAへの還元率がアップすることを踏まえ、栃バ協への還元率を20%から15%にしたいという要望があったが、その他は昨年どおりとなっている。これで委託契約してよいか承認願う。
- 承認される—

(6) Bリーグのゲームディレクター及びBリーグ支援委員会委員の委嘱について(事業部)

- 2019-2020BリーグのゲームディレクターとBリーグ支援委員会委員を委嘱したいので承認願う。
- 承認される—

(7) 3x3委員会委員について(3x3委員会)

- 各連盟より委員会のメンバーが上がってきたので承認願う。
- 承認される—

(8) 特別功労賞の表彰について(事務局)

- 幹部会の席上会長より故文星芸大属高の伊藤均先生の功績を讃えて特別功労章を贈呈してはと提案があった。栃バ協として贈呈したいので、承認願う。
- 承認される—

4 その他

(1) 3x3委員会より

- 今年度までは3x3委員会で大会日程を組んでいたが、次年度からは各連盟・カテゴリー一部会で日程を組んでほしい。運営について3x3委員会が担当する。

(2) 小山市協会より

- 関東学生リーグが、女子9/28・29、男子10/5・6に白鷗大学で行われる。観戦願う。

(3) 事務局より

- ①今年度の天皇杯・皇后杯が9/21～23に船橋で行われる。白鷗大学男女が出場している。
- ②協会だより第5号を発行した。

5 あいさつ

上野副会長：○少年男女の国体出場を祝うとともに応援願う。今後も、栃木国体に向け育成強化等務めてもらいたい。本日も慎重審議に感謝する。